

## 令和3年度の実施状況・課題と令和4年度の対応

## 1 学卒者訓練

新規学卒者を中心に概ね30歳以下の者を対象に、1～2年の期間で、基礎的技術及び知識を習得し、地域の産業人材を養成する職業訓練をテクノスクール4校で行うもの。

精密機械加工、メカトロニクス、木造建築などものづくり分野のコースを設け、高い県内就職率を果たしている（令和3年度就職内定者の93.2%）。

## 〈令和3年度実施状況〉

入校状況の推移

入校月	募集定員	応募者数	入校者数	入校率
R2.4	175人	109人	104人	59.4%
R3.4	180人	119人	110人	61.1%
R4.4	175人	140人	131人	74.9%

※R4.4は入校見込み者数（R4.2末現在）。一部のコースで追加募集中

令和4年3月修了コースの就職状況

（令和3年12月末現在・人）

校名	対象	訓練科名	学年	定員	入校者数	年度当初 在籍者数	R4年度へ 進級	修了者見 込者数	内定者数		就職率(%)
									うち 県外		
新潟	高卒	精密機械加工科	2年	20	6	4		3	3		100.0%
	高卒		1年	20	15	15	14				
	高卒	電気システム科	2年	20	19	11		11	8	2	72.7%
	高卒		1年	20	8	8	7				
上越	高卒	自動車整備科	2年	25	14	12		11	10	1	90.9%
	高卒		1年	25	15	15	15				
	高卒	メカトロニクス科	2年	25	9	7		6	6		100.0%
	高卒		1年	25	14	14	13				
三条	中卒	生産システム科	2年	20	13	12		12	11		91.7%
	中卒		1年	20	16	16	15				
	高卒	メカトロニクス科	2年	20	16	16		16	15	1	93.8%
	高卒		1年	20	11	11	10				
	高卒	工業デザイン科	2年	20	9	9		9	9	1	100.0%
	高卒		1年	20	10	10	8				
魚沼	中卒	木造建築科	2年	15	8	8		8	2		25.0%
	中卒		1年	15	11	11	11				
	高卒	電気施設科	1年	15	10	10		10	10		100.0%
R2年度入校生			2年	165	94	79		76	64	5	84.2%
R3年度入校生			1年	180	110	110	93	10	10	0	100.0%
学卒者訓練 合計				345	204	189	93	86	74	5	86.0%

## 〈現状・課題〉

- 令和4年度入校予定者の入校率は過去2年に比べ高くなっており、これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内での就職や進学希望が高まっていることに加え、令和2年度から高校2年生に対する広報活動を積極的に行うなど、募集活動の工夫による効果が考えられる。
- 就職状況については、例年どおり、県内企業への就職率が高くなっている。
- 特別な配慮が必要な訓練生や、精神的な悩みを持つ訓練生が入校している現状も踏まえ、スクールカウンセラーとの連携や研修等による指導員の対応力の向上を行い、訓練生一人一人に合った職業訓練を実施する必要がある。

## 〈令和4年度の対応〉

- 高等学校や中学校への広報活動による新規学卒者の確保だけでなく、ハローワーク等への広報活動を強化し新規学卒者以外の訓練生を確保する。
- 令和3年度に引き続き、国の委託事業である「職業能力開発校における精神障害者等の受入れに係るノウハウ普及・対応力強化事業」を活用し、組織的に指導方針を決定する手法である「ケース会議」の実施等、対応に関するノウハウを蓄積する。

## 〈令和4年度計画〉

入校定員 175 人（前年比▲5人）

実施コース及び入校選考状況は下表のとおり。（令和3年2月17日現在・人）

訓練区分	校	訓練科	定員	令和4年度生								令和3年度生	
				応募者数	前年度比	合格者数	前年度比	入校予定者数	未充足者数	定員充足率	オープンキャンパス参加者	応募者数	入校者数
学卒者訓練	新潟	精密機械加工科	20	11	△ 3	11	△ 4	11	9	55.0%	19	14	15
		電気システム科	20	8	△ 1	7	△ 1	7	13	35.0%	14	9	8
	上越	自動車整備科	25	33	16	25	10	25	0	100.0%	50	17	15
		ロボット科	20	13	△ 1	15	1	15	5	75.0%	24	14	14
	三条	ロボット科	20	13	0	13	2	13	7	65.0%	38	13	11
		工業デザイン科	20	20	10	18	8	18	2	90.0%	45	10	10
		生産システム科	20	11	△ 10	11	△ 5	11	9	55.0%	36	21	16
	魚沼	電気施設科	15	16	6	16	6	16	-1	106.7%	10	10	10
		木造建築科	15	15	4	15	4	15	0	100.0%	27	11	11
		合計		175	140	21	131	21	131	44	74.9%	263	119

## 2 離職者訓練（一般離職者）

離職者を対象に、雇用のミスマッチの低減や個々の能力を高め、円滑な再就職を支援する職業訓練を実施。

### (1) 施設内訓練

県立テクノスクールの施設内における離職者向け訓練は、地域産業の人材ニーズを踏まえ、主にものづくり分野の職業訓練を実施し、再就職を支援。

### 〈令和3年度実施状況〉

(令和3年12月末現在・人)

校	コース名	R3 当初定員	入校	修了 (見込)	修了			就職率	R4 当初定員	前年比
					うち修了3か月 経過コース	3か月後 就職者	うち 県外			
新潟	溶接科	50	18	9	4	3	0	75.0%	40	▲10
	ビル設備管理科	40	25	16	16	14	1	87.5%	30	▲10
	個人開業基礎コース	10	7	(7)	—	—	—	—	10	0
	土木・建築基礎コース	10	9	9	—	—	—	—	0	▲10
	メカニカルベーシックコース	30	11	9	9	8	0	88.9%	15	▲15
上越	溶接科	40	8	3	2	2	0	100.0%	30	▲10
	木造建築科	15	5	(3)	—	—	—	—	15	0
	ビジネススタッフ科	15	16	(13)	—	—	—	—	15	0
三条 魚沼	溶接科	60	15	6	—	—	—	—	60	0
	エクステリア左官科	10	5	(5)	—	—	—	—	10	0
合 計		280	119	80	31	27	1	87.1%	225	▲55

### 〈現状・課題〉

- ・ 定員充足率が低く、受講者の確保が課題となっている。

### 〈令和4年度の対応〉

- ・ 学卒者訓練と同様、施設内のコースを見ていただくようテクノスクールにおいて、個別相談を含む説明会を開催する。
- ・ 雇用情勢の改善を受けて、新型コロナウイルス感染症の影響前のR2年度当初と同規模の定員（▲55人）とする。

### 〈令和4年度計画〉

入校定員 225 人（前年比▲55人）

## (2) 委託訓練

事務、IT、介護分野などの民間教育訓練機関を活用し、雇用失業情勢に応じて機動的・効果的に職業訓練の機会を提供することにより再就職を支援。

### 〈令和3年度実施状況〉

(令和3年12月末現在)

離職者訓練	計画定員	募集定員	入校者数	うち女性	入校率	修了者数	就職者数	就職率
事務系	1,564人	1,243人	994人	805 (81.0%)	80.0%	652人	291人	44.6%
介護系	622人	290人	179人	111 (62.0%)	61.7%	116人	77人	66.4%
IT系	400人	352人	247人	138 (55.9%)	70.2%	141人	37人	26.2%
建築・建設系	70人	50人	20人	4 (20.0%)	40.0%	9人	8人	88.9%
サービス系	111人	91人	57人	23 (40.4%)	62.6%	16人	14人	87.5%
その他	423人	140人	72人	27 (37.5%)	51.4%	31人	27人	87.1%
合計	3,190人	2,166人	1,569人	1,108人 (70.6%)	72.4%	965人	454人	47.0%

※ 訓練実施中、就職活動中の方がいるため、就職率は今後上昇する見込み。

### 〈現状・課題〉

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、入校申込の窓口であるハローワークを訪問する求職者が減少したことや、訓練説明会が中止になるなど、十分に周知ができなかった。
- ・ 主な分野ごとの課題と対応は、次のページのとおり。

### 〈令和4年度の対応〉

- ・ ハローワークにおける説明会が再開した地域においては、感染症対策を十分に行いながら紹介を行うとともに、テクノスクールにおいても定期的に訓練説明会を開催する。
- ・ 訓練委託先の協力も得て、周知・広報を行う。
- ・ 県の就業支援事業との連携による広報を行う。

### 〈令和4年度計画〉

計画定員 2,990人 (前年比▲200人、前年当初比▲170人)

※ 2年制の2年生 100人を含む

## 【主要な分野の課題と対応】

### ア IT系訓練 ※詳細は資料7

#### 〈現状・課題〉

- ・ 様々な分野におけるデジタル化の進展により不足する、IT人材の育成と確保が必要
- ・ 訓練実施機関が限られているため、コースの設定に限りがある。

#### 〈令和4年度の対応・計画〉

- ・ 部内のDX推進事業と連携を図りながら、人材ニーズを把握したコースの設定及び拡充
- ・ 委託訓練に加え、R2から、地域活性化雇用創造プロジェクト（国補助金）を活用し、企業でOJTを行う雇用型訓練を継続。
- ・ R4計画定員420人（前年同）

### イ 介護系訓練 ※詳細は資料7

#### 〈現状・課題〉

- ・ 求人ニーズを踏まえ訓練を設定するが、求人ニーズと受講者ニーズとのミスマッチにより、入校状況が低調となっている。
- ・ 介護分野の求人企業の中には、資格がない未経験者でも採用しているため、介護を希望する求職者が訓練を受講せず資格がないまま就職するが、企業は人材を育成する余裕がなく、安定雇用につながらないとの意見がある。

#### 〈令和4年度の対応・計画〉

- ・ 訓練委託先やハローワーク等から、短期間での訓練を望む声が多いことから、訓練期間3か月であった介護員養成科の一部を2か月としたところ、入校率が上昇したことから引き続き2か月コースを設定する。
- ・ 福祉施設等を公共職業訓練の実施施設として認定し、受講者を受け入れて職業訓練を実施するとともに、通信制の介護初任者研修の講座を受講することで資格を取得する「介護人材育成訓練事業」を実施する。
- ・ R4計画定員660人（前年同）

### ウ 建設系訓練

#### 〈現状・課題〉

- ・ 求人ニーズを踏まえ訓練を設定したが、測量科以外のコースが中止（募集したが希望者なし1コース、受託事業者なしで募集できなかった2コース）

#### 〈令和4年度の対応・計画〉

- ・ 測量科（定員10人・長期高度人材育成コース（2年））は毎年入校者がいるため継続して実施する。
- ・ 短期のコースについては、建設機械の講習を実施している機関を含めて訓練委託先として開拓に努める。

#### 〈令和4年度計画〉

R4計画定員105人（前年比▲5人）

### (3) 特色のあるコース

#### ア 育児等両立支援コース

一人一人のライフステージに合った働き方を選択しやすくするため、子育てや家族の介護などを理由に短時間(※)の訓練を望む求職者を対象に実施

※ 1日あたりの訓練時間が4h（通常訓練6h）

#### 〈令和3年実施状況〉

(令和3年12月末現在・人)

地域	期間	入校月	コース名	計画定員	募集定員	入校者			修了者	就職者	就職率	受講理由等 ※重複もあり
						うち男性	うち託児サービス利用					
新潟市(中央区)	3か月	6月	PCスキルアップ科	15	16	8	0	1	7	7	100.0%	育児:6人、介護:2人、その他:1人
新潟市(中央区)	4か月	10月	パソコン会計科	15	12	8	1	1	0	0	0.0%	育児:5人、介護:2人、その他:1人
上越市	3か月	6月	パソコン基礎科 上越	15	15	13	1	0	13	6	46.2%	育児:12人、介護1人(うち男性1人)
柏崎市	3か月	9月	パソコン基礎科 柏崎	15	12	6	0	0	6	0	-	育児6人
糸魚川市	3か月	2月	パソコン基礎科 糸魚川	12								
三条市	3か月	6月	事務基本科 1	15	16	8	0	0	8	7	87.5%	育児:5人、介護:3人
三条市	3か月	9月	事務基本科 2	15	16	9	0	0	7	0	0.0%	育児:7人、介護:1人、その他:1人
合 計				102	87	52	2	2	41	20	48.8%	
合 計 (修了後3か月経過していないものを除く)									28	20	71.4%	

- ・ 育児等両立支援コースのほか、離職者向け訓練の一部に子育て中の求職者に対する託児サービス（無料）付き訓練コースを設けている。

#### ○ 利用状況（令和3年度）

68 コースで設定 利用者3コース・3人

#### 〈現状・課題〉

- ・ 訓練ニーズや、訓練時間、内容について、「訓練カリキュラム等検証・改善会議」（新潟労働局・ポリテクセンター新潟・職業能力開発課が委員）で、モデルカリキュラムを作成し、関係先へ展開した。

#### 〈令和4年度の対応〉

- ・ モデルカリキュラムを委託先に示し、コース設定・カリキュラム策定の参考としてもらい、より効果的な実施に努める。

#### 〈令和4年度計画〉

計画定員90人（前年同）

## イ 中高年齢者向けコース

中高年齢者を対象として、通常のコースより緩やかなペースで訓練を実施し、標準3か月間で幅広い職種に役立つパソコンスキルを習得するとともに、キャリアに応じた就職支援を行うことで再就職を支援する。

### 〈令和3年度実施状況〉

- 中高年齢者向けのコースの実施状況 (令和3年12月末現在・人)

地域	期間	修了月	コース名	計画定員	募集定員	応募者数	入校	修了	就職	就職率	平均年齢
新潟市	3か月	R3.7月	事務基本科	15	15	16	15	15	9	60.0%	60.2歳
新潟市	3か月	R3.1月	事務基本科	15	15	9	8				60.0歳
上越市	3か月	11月	パソコン基礎科	15	15	12	11	11	3	27.3%	58.0歳
上越市	4か月	R4.4月	パソコン基礎科	15	中止						0.0歳
柏崎市	4か月	R3.9月	パソコン基礎科	12	12	13	12	9	8	88.9%	55.0歳
三条市	3か月	8月	事務基本科	16	16	21	16	14	10	71.4%	54.9歳
長岡市	3か月	R4.1月	事務基本科	16	16	12	11	0	0		55.6歳
合 計				104	89	83	73	49	30	61.2%	57.2歳
合 計(修了後3か月経過していないものを除く)								38	27	71.1%	

- 離職者職業訓練全体における45歳以上の訓練効果  
 職業訓練(R2)を受講後の就職率 45歳以上：71.8%、55歳以上：69.1%  
 ハローワークにおける就職率※ 45歳以上：27.0%、55歳以上：22.6%  
 ※出典：労働市場月報 R2年度・対新規求人者の就職率

### 〈現状・課題〉

- 中高年齢者は再就職にあたり、年齢面で不利となることが多いことから訓練を受講し、専門知識や技能を習得し再就職を優位に進めたいと考える者が多い。(ハローワークのニーズ調査より)
- 職業訓練を受講した方は、受講せずに就職活動するよりも就職率が良好。

### 〈令和4年度の対応〉

- 引き続き、中高年齢者の職業能力開発に資するため継続して実施する。
- 「訓練カリキュラム等検証・改善会議」(労働局・機構・職業能力開発課が委員)で策定したモデルカリキュラムを委託先に情報提供する。
- 65歳超の高齢者の就職を促進するため、これまで(独)高齢・障害・求職者支援機構がプログラム開発に取り組んできた「高齢求職者スキルアップ等コース(仮称)」を実施(定員15人)

### 〈令和4年度計画〉

計画定員105人(前年比+15人)

## ウ 長期高度人材育成コース

国家資格等の高い職業能力を習得し正社員での就職を目指すコース。専門学校で受講（1又は2年間）し、本科生の身分を有して訓練を受講するコース。

### 〈令和3年度実施状況〉

(令和3年12月末現在・人)

年度	計画定員	応募者	入校者	修了者	就職者	就職率	
							正社員率
H30	100	26	15	15	13	86.7%	69.2%
R1	100	53	41	39	37	94.9%	75.7%
R2	100	76	59	12 <sup>※</sup>	11 <sup>※</sup>	91.7% <sup>※</sup>	63.6% <sup>※</sup>
R3	100	84	56	-	-	-	-

※ 1年制コースのみ記載（2年制コースは令和4年3月修了）

### 〈現状・課題〉

- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行により、高校生が進学先に県内の専門学校を選ぶ傾向が強くなった。
- ・ 平成30年度から始まった当コースの応募者は増加傾向にある。

### 〈令和4年度の対応〉

- ・ 離職者に対して、就職実績や訓練受講によるメリットを伝えることで更なる入校者の確保に努める。
- ・ 就職実績を確認し、委託先に対して必要な対応を促し訓練効果を高める。

### 〈令和4年度計画〉

計画定員 100 人（前年度同）、17 コース（前年同）

〈令和4年度のコース一覧〉

コース名(地域)	期間	目標資格	実施予定の学校名	定員
介護福祉士養成科 (新潟・長岡・上越)	2年	介護福祉士	新潟医療福祉カレッジ	25人
			◆国際こども・福祉カレッジ	
			○長岡こども福祉カレッジ	
			●長岡こども・医療・介護専門学校	
			長岡崇徳福祉専門学校	
			上越保健医療福祉専門学校	
保育士養成科 (新潟・長岡)	2年	保育士	ひまわり幼児教育専門学院	15人
			日本こども福祉専門学校	
			◆国際こども・福祉カレッジ	
			○長岡こども福祉カレッジ	
			●長岡こども・医療・介護専門学校	
情報システム科 (新潟・長岡・上越)	2年	応用情報 技術者	新潟コンピュータ専門学校	20人
			長岡公務員・情報ビジネス専門学校	
			上越公務員・情報ビジネス専門学校	
測量科(新潟)	2年	測量士補	新潟工科専門学校	10人
トラベル観光科 (新潟)	2年	総合旅行業務 取扱管理者	国際外語・観光・エアライン専門学校	30人
調理師科 (新潟・長岡)	1年	調理師	◇にいがた製菓・調理専門学校えぷろん	
			▼国際調理製菓専門学校	
			△悠久山栄養調理専門学校	
製菓技術科(新潟)	2年	製菓衛生師	シェフパティシエ専門学校	
			◇にいがた製菓・調理専門学校えぷろん	
			▼国際調理製菓専門学校	
栄養士科(長岡)	2年	栄養士	△悠久山栄養調理専門学校	
美容科(長岡)	2年	美容師	国際ビューティモード専門学校	
			長岡美容専門学校	
ペット美容科 (新潟)	2年	愛玩動物 飼養管理士	国際ペットワールド専門学校	
葬祭ディレクター科 (新潟)	2年	葬祭ディレクター 技能審査	国際ホテル・ブライダル専門学校	
合計 17コース		11学科	21専門学校	100人

◇・◆・○・●・△・▼は重複する学校名 (参考) 令和3年度コースの応募者数は84人

## 4 若年求職者向け訓練

就職氷河期世代を含む若年求職者（概ね 55 歳未満の離職者、フリーター、不安定労働者等）を対象に、企業実習を組み合わせた訓練（デュアルシステム）を通して、実践的な技能を身につける職業訓練等を実施し、若年者の安定雇用を図る。

若年求職者のニーズが高い W e b 系のコースや、情報化社会に対応する人材育成のため、プログラマー養成科などの I T 系コースを設定している。

### 〈令和 3 年度実施状況〉

（令和 3 年 12 月末現在・人）

区 分	計画定員	入校者	修了者	就職者	就職率	
					うち常用	うち常用
施設内 R3 入校生	50	16	受講中	-	-	-
〃 R2 2 年生	20	17	受講中	-	-	-
委託訓練	325	187	126	55	44	43.7%
合 計	375	219	126	55	14	43.7%

※ 訓練受講中、就職活動中の方がいるため、就職率は今後上昇する見込み。

### 〈現状・課題〉

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、企業実習の受け入れ先の確保が困難となっているが、テレワークの普及につれて、一部では実習を社外で行い、成果物をオンラインでやりとりしている。

### 〈令和 4 年度の対応〉

- ・ 若年求職者の訓練ニーズが高く、あらゆる分野でデジタル化が進展することに対応できるよう I T 分野のコースを引き続き設定
- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況や新しい働き方のスタイルに合わせて、オンラインを取り入れるなど、円滑な実習に努める。

### 〈令和 4 年度計画〉

計画定員 370 人（前年比▲25 人） ※ 2 年制の 2 年 20 人を含む

区 分	主なコース	計画定員
施設内	自動車整備科、電気設備コース	70
委託訓練	W e b クリエーター科、プログラマー養成科、建築 C A D 科など	300 (▲25)
合 計		370

計画定員には、2 年制の 2 年の定員を含む

## 5 障害者訓練

障害者の特性に応じた職業訓練を実施するとともに、障害のある訓練生一人ひとりに合わせた支援を強化し、障害者の雇用を促進する。

- ・ 施設内訓練：新潟テクノスクールにおいて、総合実務科（1年）を設置
- ・ 委託訓練：民間教育訓練機関、企業等における訓練及びeラーニングを実施

### 〈令和3年度実施状況〉

（令和3年12月末現在・人）

区分	訓練形態	訓練名称	対象者	計画定員	募集定員	応募者数	入校者数	中退者数	修了者数	就職者数	就職率
テクノ	集合訓練	総合実務科	求職障害者	20	20	13	13	2	-	-	-
委託	集合訓練	デュアル訓練 知識・技能習得訓練	求職障害者	75	10	1	0	-	-	-	-
			求職障害者		10	3	3	1	2	0	0.0%
			特別支援学校在校生		5	3	3	0	-	-	
	個別訓練	実践能力習得訓練	特別支援学校在校生	20	-	-	-	-	-	-	-
	在宅訓練	e-ラーニング	求職障害者	60	42	42	42	2	29	27	93.1%
合計				180	88	63	62	5	31	27	87.1%

- ・ 集合訓練（施設内・委託） 複数名が同時に受講する訓練（定員4～20人）  
  - 【デュアル訓練】 座学と職場実習を組み合わせた実践的な訓練
  - 【知識・技能習得訓練】 主に座学で実施する訓練
- ・ 個別訓練（委託） 個別に事業所現場で行う実践的な訓練（定員1人）
- ・ 在宅訓練（委託） 通所が困難な障害者を対象とするe-ラーニングの訓練
- ・ 特別支援学校在校生（委託） 特別支援学校の卒業年次生（3年生）のうち、卒業年度10月時点で就職が決まっていない者を対象に実施する訓練

### 〈現状・課題〉

- ・ 企業側の訓練ニーズは高いが、訓練受講希望者が少なく訓練が成立しなかったコースが見受けられた。
- ・ 「集合訓練」では、訓練生に合わせた個別の対応が必要であり、就職に苦慮している。
- ・ 就労系サービスを利用していない障害者等への訓練の周知が必要である。

### 〈令和4年度の対応〉

- ・ 訓練生の募集活動において、訓練内容に加え、経済的支援制度の情報提供を行い、訓練受講にあたっての不安を取り除き、受講希望者の確保につなげる。
- ・ ハローワークや障害者就業・生活支援センター等から、一般就労を目指す障害者の企業や職種のニーズを収集し、委託先の開拓及び受講希望者を確保につなげる。
- ・ 「個別訓練」は就職率が高いことから（86.7% R2年度実績）、採用意欲の高い企業や受講者のニーズに即した企業を中心に開拓し、開講コース数を増加させる。
- ・ 「個別訓練」のマッチングを図る国の事業「精神障害者職業訓練コーディネート事業」\*を活用する。

※ 就職を希望する精神障害者の訓練の受講ニーズ及び個々の状況を把握し、個別訓練の実施事業所の開拓及び訓練計画作成から実施まで一貫して支援し障害者の就職を促進する事業。

- ・ ICT技術を受講の支援として活用する訓練を実施するため、対応可能な委託先や受講希望者の把握に取り組む。

### 〈令和4年度計画〉

令和4年度計画定員 180人（前年度同数）

〔内訳〕テクノスクール施設内 20人

委託訓練 160人

(人)

区分	訓練形態	訓練名称	対象者	R4年度					R3年度	前年度増減
				新潟校	上越校	三条校	魚沼校	合計		
施設内	集合訓練	施設内訓練(総合実務科)	求職障害者	20	0	0	0	20	20	0
委託	集合訓練	デュアル訓練	求職障害者	35	15	10	0	60	75	△ 15
		知識・技能習得訓練	特別支援学校在校生	10	3	7	0	20	20	0
	個別訓練	実践能力習得訓練	特別支援学校在校生 求職障害者	24	20	21	10	75	60	15
	在宅訓練	eラーニング	求職障害者	5	0	0	0	5	5	0
	合 計				94	38	38	10	180	180

## 6 在職者訓練

在職者を対象に、職業に必要な知識・技能の追加取得や最新技術の習得など地域の産業界が必要とする労働者の幅広い職業能力の開発と向上を図る。

- ・ 実施方法として、テクノスクールであらかじめ計画するレディメイド型のほか、企業の要望に応じてオーダーメイド型として実施する。
- ・ 段階的かつ体系的にレベルアップできるよう設定  
(新入社員及び若手向け、非正規労働者向け、各種国家検定対策、熟練技能者による高度技能、情報通信業及び製造業に向けたI o T関連 ほか)

### 〈令和3年度実施状況〉

(令和3年12月末現在・人)

訓練内容	計法定員	受講者数		受講者数 合計
		レディメイド*	オーダーメイド*	
<b>合 計</b>	<b>2,150</b>	<b>1,061</b>	<b>225</b>	<b>1,286</b>
ものづくり系	2,150	255	63	318
情報系		185	0	185
電気系		208	7	215
自動車系		186	0	186
建築系		30	4	34
建設・配管系		50	0	50
溶接系		53	58	111
事務系		0	0	0
介護系		0	0	0
その他		94	93	187

### 〈現状・課題〉

- ・ R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止にしたコースや定員を減らして実施したコースが多くあった。
- ・ また、受講を見送る企業が多くあり、受講者は例年の6割程度となった。

### 〈令和4年度の対応〉

- ・ 国の事業「地域活性化雇用創造プロジェクト」\*を活用し、デジタル化に対応するために必要なIT技術に関連するコースを設定する

※ 生活創造産業及び先端技術創造産業分野の成長加速により雇用吸収力を高めることと連動した人材育成を行うことにより、安定した雇用を図ることを目的とする事業。

各産業ではITを導入する動きが広がっており、製造現場でもIoTをはじめ、生産性向上に資するロボット導入やオートメーション化の取組が拡大していることから、このようなニーズに即した在職者訓練を実施し、良質な雇用に結びつける。

- ・ オンラインによる、受講場所にとらわれない新しい訓練のスタイルを推進し、企業が従業員を参加させやすいコースを設定する。
- ・ 新入社員向けに、基礎的な知識・技能を習得するコースや、段階的に難易度を上げていくコースを設定する。
- ・ 在職者が、資格取得など自身のスキルアップの目標から複数のコースを選択できるよう、体系的にコースを設定する。
- ・ 受講することによる効果（現場業務での活用事例など）がイメージしやすいコース名や専門用語を用いない広報を行うことで、受講率の向上を図る。

### 〈令和4年度計画〉

計画定員 2,150 人（前年度同数）

校	R 4			地域活性化雇用創造 プロジェクト (IT分野)
	通常訓練		150	
	通常訓練	IT スキルアップ訓練		
新潟	830	562		200
上越	460	314		110
三条	630	456		140
魚沼	230	168		50
合計	2,150	1,500	150	500

(人)

## ITスキルアップ訓練事業【R3 新型コロナ臨時交付金・R4 在職者訓練として実施】

雇用環境が不安定となっている非正規社員または非正規社員で離職された方を対象に、テクノスクールにおける講座とオンラインを活用した訓練を通してスキルアップを図り、より幅広い職域での就労の継続を支援する。

### 〈令和3年度の実績〉

- ・導入（企業）セミナー参加者 184人（うち女性 93人）
- ・スキルアップ訓練受講者 64人（うち女性 52人）

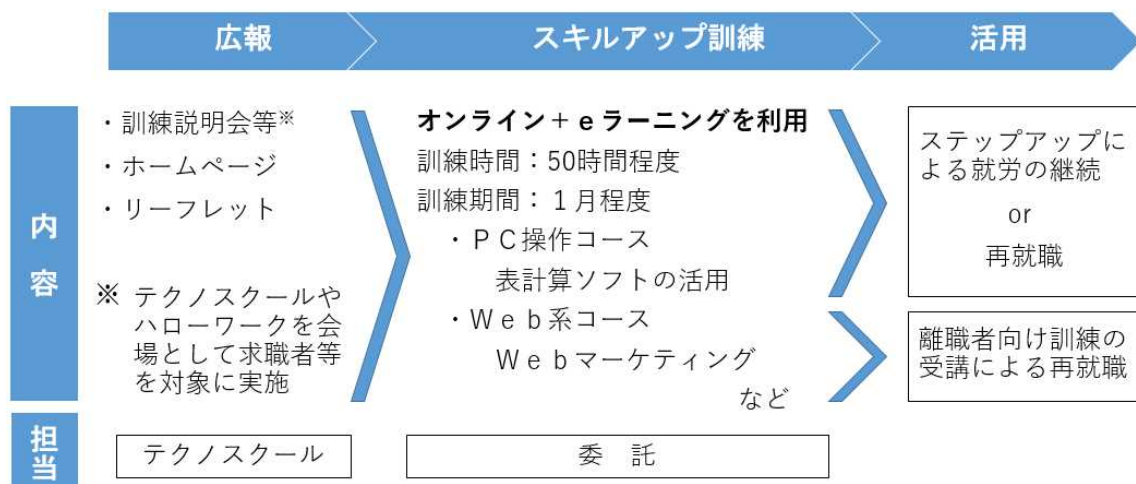


図 ITスキルアップ訓練の実施スキーム（R4）

- ・ 受講者の声
  - 「コロナ禍でも、リモートなので安心して受講できました。」
  - 「eラーニングは、自分のペースで学べて良かったです。」
  - 「さらに深掘りしたWebマーケティングを受けてみたい。」

### 〈令和4年度計画〉

計法定員 150人

- ・ PC操作中級程度まで、Web関係などを公共職業訓練として実施
- ・ なお、PC初歩、基礎部分については、女性活躍支援の観点から研修として実施（下表）。
- ・ それぞれが連携して、非正規雇用労働者、求職者への周知、広報を行う。

ITスキルアップ訓練事業 【職業能力開発課】	未就労女性のオンラインスキルアップ 事業〔新規〕【男女平等社会推進課】
対象：非正規雇用労働者等 内容：PC表計算（中級レベル）、 Webマーケティングなどの 職業訓練	対象：結婚や妊娠・出産、育児などを 理由に長期未就労の女性等 内容：PCの初歩、PC基礎などの ITスキルアップ研修

## 6 技能振興

### (1) 技能検定

技能検定は、職業能力開発促進法第 44 条の規定に基づき、実技試験及び学科試験を厚生労働大臣が実施する。その際の実施は法第 46 条により、厚生労働大臣、県知事、中央職業能力開発協会及び都道府県職業能力開発協会の間で分担している。

毎年度の技能検定実施計画は厚生労働大臣が定め、中央協会が作成した試験問題、試験実施要領等を用いて県知事及び県協会が分担し、実施している。

#### 〈実施状況〉

##### ●技能検定実施実績

区 分		令和元	令和 2	令和 3 4-9 月	令和元 4-9 月	令和元, 令和 3 年同期比
特級	受検者数	58	63	-	-	-
	合格者数	9	15	-	-	-
1 級・単一	受検者数	1,119	398	617	619	99.7%
	合格者数	577	205	305	319	95.6%
2 級	受検者数	1,534	478	673	733	91.8%
	合格者数	722	248	369	406	90.9%
3 級	受検者数	977	547	369	380	97.1%
	合格者数	742	401	252	296	85.1%
合計	受検者数	3,688	1,486	1,659	1,732	95.8%
	合格者数	2,050	869	926	1,021	90.7%
区 分 (外国人向け)		令和元	令和 2	令和 3 4-9 月	令和 2 4-9 月	令和 2, 令和 3 年同期比
基礎級	受検者数	1,196	709	193	531	36.3%
	合格者数	1,151	704	179	527	40.0%
随時 3 級	受検者数	760	846	583	433	134.6%
	合格者数	366	401	263	205	128.3%
随時 2 級	受検者数	30	151	85	50	170.0%
	合格者数	1	2	0	1	皆減
合計	受検者数	1,986	1,706	861	1,014	84.9%
	合格者数	1,518	1,107	442	733	60.3%
合格者総計		3,568	1,976	-	-	-

※令和 3 年度実施特級～3 級は機械保全職種を除く。令和 3 年度実績は前期(4～9 月)実績(後期は実施中のため)。

新型コロナウイルス感染拡大の影響による入国制限を受け、外国人受検者数の伸びが鈍化している。

【等級別実施職種・作業数（外国人向け技能検定）】

等級	令和元年度	令和2年度	令和3年度(R3.2迄)
基礎級	44職種58作業	47職種64作業	47職種62作業
随時3級	44職種58作業	47職種64作業	47職種62作業
随時2級	44職種58作業	47職種64作業	27職種33作業

外国人向け技能検定は、実施職種において増加傾向である。

〈令和4年度の対応〉

- ・ 県、県職業能力開発協会と連携し、受検者数の動向や、ニーズを踏まえつつ、高等学校、業界団体、企業等へ訪問し、技能検定に関して意見交換を行うとともに受検促進を依頼する。
- ・ 商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会などの主催する会議や説明会の場で技能検定制度の説明と受検促進への協力依頼を行う。

〈令和4年度の計画〉

- ・ 前期試験（令和4年6月7日～9月11日）

【等級別実施職種・作業数】

等級	作業数
特級	-
1級・2級	38職種64作業
3級	12職種14作業
単一等級	1職種2作業

※後期試験についても例年並みに公示予定

- ・ 外国人向け検定

【等級別実施職種・作業数】

等級	作業数
基礎級	47職種62作業
随時3級	47職種62作業
随時2級	27職種35作業

## (2) 技能振興に関する取組

### 〈実施状況〉

#### ● にいがた技のにぎわいフェスタ

技能の重要性、必要性及びその魅力を次代の新潟を担う子どもたちを中心として広く県民に周知するため、新潟県職業能力開発協会、県技能士会連合会、認定職業訓練校、事業所等関係機関の協力を得て毎年開催している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

#### ● 新潟県職業能力開発関係表彰式(例年実施している新潟県職業能力開発促進大会の代替で開催)

職業能力の開発・向上の促進及び魅力ある技能社会の形成を目指し、県民一般の理解を高めるため毎年開催している。

大会では、卓越した技能者の表彰(知事表彰)、優良事業所、団体及び功労者の表彰を行っている。

開催日：令和3年11月25日(木)新潟市民プラザ

知事表彰、新潟県職業能力開発協会表彰を実施

##### 〈知事表彰の内容〉

- ・ 卓越した技能者の表彰(「にいがたの名工」)  
令和3年表彰 6名
- ・ 認定職業訓練・技能検定関係表彰(優良事業所、団体及び功労者の表彰)  
令和3年表彰 技能検定功労者 4名

#### ● 各種競技大会への参加<令和3年度実績>

##### ◇第16回若年者ものづくり競技大会

大会期間：令和3年7月31日(水)～8月1日(木)

新潟県参加選手：5職種8人(成績：4職種5人入賞)

##### ◇第59回技能五輪全国大会(東京都)

大会期間：令和3年12月17日(金)～20日(月)

新潟県参加選手：9職種26人(成績：5職種9人入賞)

##### ◇第41回全国障害者技能競技大会(アビリンピック・東京都)

大会期間：令和3年12月17日(金)～20日(月)

新潟県参加選手：5種目5人(成績：1職種1人入賞)

##### ◇技能グランプリ

令和3年度は大会開催なし(次回令和4年度開催予定)

#### 〈令和4年度の対応〉

- ・ イベントや競技大会の結果については県公報における周知を図る。
- ・ また、技のにぎわいフェスタについては、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となったため、3年ぶりの開催を目指し、感染拡大防止に配慮しながらイベントを企画したい。

#### 〈令和4年度計画〉

- ・ 職業能力促進大会の実施、表彰の実施（11月）
- ・ 技のにぎわいフェスタの開催（11月）
- ・ 各種技能競技大会参加者への支援や競技大会時の広報